

## 【患者様・ご家族様へ】

### ～～ 「研究報告」 についての御説明 ～～

私たちは、「研究報告」という形を通して、病態の評価や治療経過などについて、医療者同士が経験を共有します。共有することで、評価や医療安全などの水準を向上し、治療方法の検討などを行い、より良い回復の糸口を見つけたいと考えています。

そうした目的のために患者様の診療情報（症状経過、処方内容、検査データなど）を、患者様個人が特定されない形にして（個人情報保護して）、「研究報告」に活用させていただきたいと思っております。

具体的には、

◆症例検討会や学会などの場で、スライドを用いた口頭・ポスター発表での報告

◆医学雑誌などに、文章で報告といった方式をとります。

発表の際、患者様個人が特定されないように（個人情報保護のために）、次のような配慮・工夫をします。

- 氏名 …イニシャルも含めて提示しません。
- 生年月日および住所 …提示しません。
- 年齢 …「〇歳代」などのおおよその形で提示します。
- 日付 …「〇年」と大まかに記載や、「X年 2 月」といった、具体的な年代は分からない書き方にします。
- 地名 …医療機関名や地域名などについては、「A 病院」「B 県」などの記載を用います。
- 家族歴・職業歴など …症例報告に必要な不可欠な事項に限定します。
- 画像・検査データ・その他の診療情報 …必要な場合に最小限の部分だけ提示することがあります。患者番号や氏名といった個人を特定可能な情報は削除します。顔写真など、容易に個人を特定できる写真は使用しません。

また、症例報告へのご協力は自由です。お断りになっても診療上の不利益がないことをお約束いたします。また、一度同意した場合でも、後で取りやめることができます。ただし、同意取りやめの時点で報告済みの情報や、切り離してしまって誰の情報かわからない情報については、削除できない場合があります。

以上